

開講科目名 / Course	メディア調査研究法A(量的調査研究の技法) / Research Methods in Media Studies A
時間割コード / Course Code	P50C2271A
時間割所属 / Course Offered by	湘南キャンパス /
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 春学期 / Spring Semester
開講区分 / semester offered	春学期 / Spring Semester
単位数 / Credits	2.0
学年 / Year	2,3,4
主担当教員 / Main Instructor	本多 祥大
担当教員名 / Instructor (担当教員所属名 / Affiliation)	本多 祥大 (情報学部 / )
サブタイトル / Subtitle	
研究室 / Laboratory	情報学部講師室 (出講日のみ)
連絡先 / Contact address	E-mail : lays23001@g.nihon-u.ac.jp
授業概要 / Course Overview	メディア・コミュニケーションに関する諸現象を、実証的に明らかにする方法の一つとして、量的調査研究の技法を学習する。グループワークにより、実際に具体的な調査の企画・立案を行い、調査の実施、集計・分析、報告までを体験する演習である。「社会調査士資格」の取得を認定する予定科目の一つで、基礎的な量的調査研究の実践的な方法を理解することが目標である。
到達目標 / Goals	授業概要にもありますが、「社会調査士資格」の取得を認定する予定科目の一つで、基礎的な量的調査研究の実践的な方法を理解することが目標です。具体的には、いわゆるアンケートの作成を社会調査理論をふまえて行える技術を身に付けること、その技術をさまざまなテーマに応用して実施できるようになることが目標です。
授業外での学修 (予習・復習) / Study outside of class (preparation and review)	社会調査の企画・立案と実施が授業内容ですので、調査の企画・立案のための事前学習やプランニングが主な予習にあたります。調査の実施は課外活動になります。調査結果の集計や整理、発表などが復習にあたります。
授業外学修時間 / Study time outside of class	授業回の前半では授業内容の予習と復習に計4時間程度以上の授業外学修を要する。中盤以降は、調査票設計のための準備や調査結果のデータ分析、報告書作成などのために4時間以上の授業外学修を要する。
評価方法 / Evaluation method	成績は、調査票作成等の共同作業貢献(約50%)内容の理解と報告書(個人レポート(約50%))により評価する。
評価基準 / Evaluation criteria	AA) グループワークに積極的に参加し、調査の企画・立案、実施、分析について良く理解し、報告書には自分なりの問題意識が伺え考察も優れている。A) AAに次ぐ。B) グループワークに参加し、調査の企画・立案、実施、分析についてやや理解に欠け、報告書の考察がやや不足。C) グループワークに参加しているが、調査の企画・立案、実施、分析について理解に欠け、報告書に難点がある。D) グループワーク、調査の企画・立案、実施、分析を理解しておらず、報告書が不十分。
フィードバック / Feedback	授業回の前半では調査に関するグループワークの報告ファイルに対してコメントを行う。中盤以降は調査票設計やデータ分析、報告書作成について、コメントを適宜行う。
授業で使用するテキスト / Textbooks used in the class	授業中に指示する。
参考書 / References	授業中に指示する。
受講者へのメッセージ / Message to participants	毎回出席しないと、授業についていけなくなります。
実務経験のある教員に関する情報 / Information about teachers with work experience	

授業計画詳細 / Course schedule

回	内容	備考
1	第1回 授業ガイダンス：(1)調査作業スケジュールの提示、 (2)調査目的と仮説案のブレインストーミング、(3)調査目的と仮説案の考案の課題提出	
2	第2回 グループと調査テーマの決定：(1)調査目的と仮説案代替案の報告と討論、(2)調査目的と仮説案の絞り込みと担当グループの形成 (1グループ4名以内)	
3	第3回 調査テーマ/仮説の検討1：(1)文献調査・ウェブ調査の情報を加えて深化・拡張した仮説構成の報告・討論	
4	第4回 調査テーマ/仮説の検討2：(1)インタビュー調査の情報を加えて深化・拡張した仮説構成の報告・討論	
5	第5回 調査テーマ/仮説の検討3：(1)概念の操作化による作業仮説案の報告と討論、(2)仮説・作業仮説から展開した調査設問項目の報告・討論、(3)調査企画(調査対象者、調査の実施方法、調査規模、実施・回収の予定)の報告・討論	
6	第6回 調査票設計1：(1)作業仮説に基づく核心的調査項目と周辺の調査項目の報告・討論	
7	第7回 調査票設計2：(1)調査票設計の方針(ワーディング・回答選択肢・調査票レイアウトの留意点)に基づく調査票の報告・討論	
8	第8回 調査票設計3：(1)プリテストの実施と調査票改善の報告・討論	
9	第9回 調査実施と回答回収1：(1)サンプリングの結果の報告・討論、(2)実施に際しての留意点の周知	
10	第10回 調査実施と回答回収2：(1)調査の実施と回収状況の報告、 (2)エディティング、データ入力、データクリーニングの方法提示	
11	第11回 調査票の点検とデータ入力：(1)エディティングの実行と処理場の問題点の討論、(2)データ入力とデータクリーニングの結果報告と討論	
12	第12回 調査データの集計1：(1)単純集計表の作成・報告と討論 (SPSSによる集計・分析)	
13	第13回 調査データの集計2：(1)仮説検証の集計の実施報告と討論 (2)その他のクロス集計、グループの平均等の行動な集計の報告と討論	
14	第14回 調査データの集計3：(1)報告会向けのグラフ利用PPT作成法の提示、(2)各自の個別報告作成要件の提示	
15	第15回 報告会：(1)グループ別報告と質疑応答	